

南アフリカかの生物多様性

南アフリカは哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類の固有種が世界で24番目（アフリカでは5番目）に多い国です。海の生物種は世界の15%、うち13%が南アフリカの固有種として確認されています。

19の国立公園では、ビッグ・ファイブを始めとする動物たち、一面に広がる花畑、クジラやペンギン、シーラカンスなども見られます。夜空を見上げれば、南十字星など満天の星空が広がっています。

南アの生物種属数とその1000キロ平方メートルの地域固有性の種族数比較

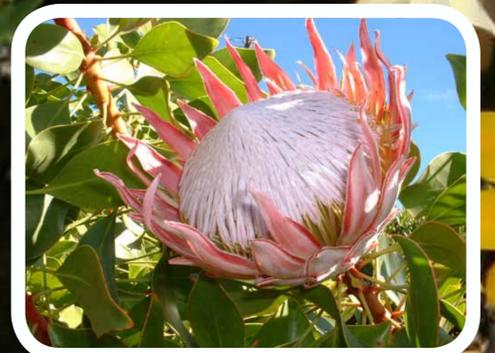
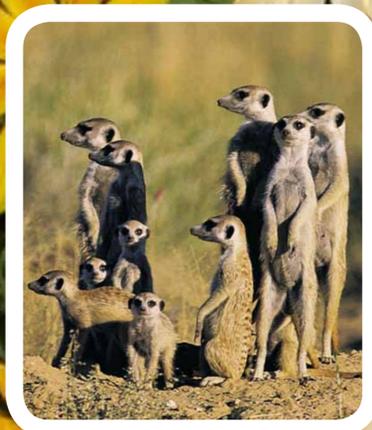
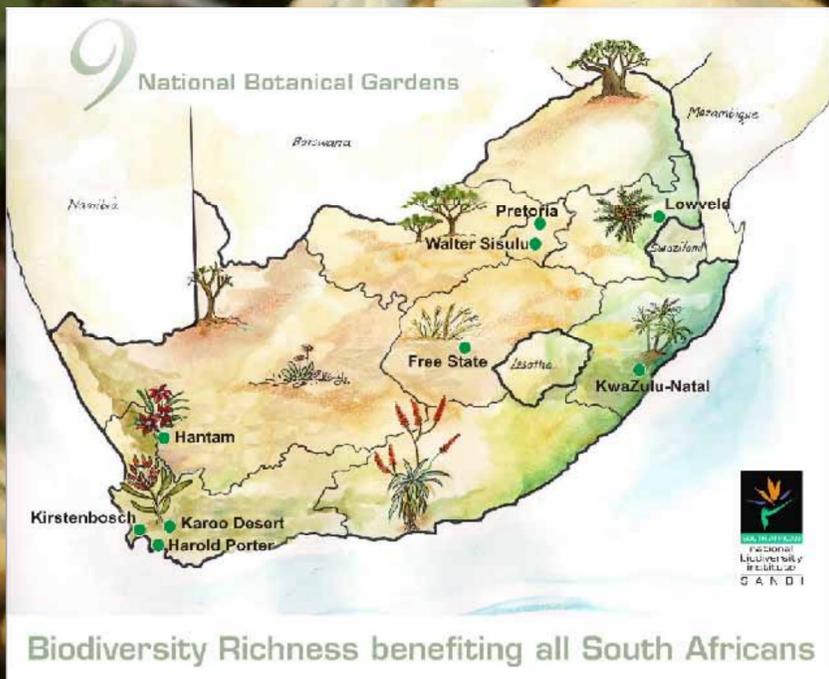
	SA Total	Endemic	SA	Africa	World
維管束植物 Vascular plants	118,325	23,420	16	15	-
両性類 Amphibians	284	111	7	2	3
爬虫類 Reptiles (excl. marine species)	1,373	363	23	3	-
哺乳類 Mammals (excl. marine species)	692	258	18	3	3
鳥類 Birds (breeding and nonbreeding)	1,134	694	57	6	6

国内の生物多様性保全プログラムだけでなく、各国と協力した枠組みを設け、地球上の財産を守っています。

国内の活動には南アフリカ国立公園協会 (SANParks) と国立生物多様性研究所 (SANBI) が国家生物多様性戦略に基づき、多大な貢献をしています。

国際プログラムの一つとして、生物多様性の**ホットスポット***の保全活動が挙げられます。南部アフリカには、マダガスカルも含めると4ヶ所登録されているので、全世界の25と比べると、この地域の生物多様性度が大きい事が分かるかと思えます。

* **ホットスポット**: 地球規模での生物多様性が高いにも関わらず、破壊の危機に瀕している地域



Images courtesy of SA Tourism



www.dst.tokyo

